

2022年度春学期 日本事情1  
浅野担当分「日本の色彩」

## 第2回 「しろ」と「あお」、「あか」と「くろ」ー 古代日本の色名

浅野 晃  
関西大学総合情報学部



1

([1],[2], …は, テキストの文献番号です。)

2

## 色を表す言葉

3

## 色を表す言葉

Berlin and Kay,  
Basic color terms  
Their Universality and Evolution[1]



「色の名前は, 翻訳がしやすい」

色を表す語彙(単語)には,  
世界の言語の間に共通する構造があるのではないか?

世界の98言語を調べた

色彩の本ですが, いまのペーパーバックは真っ黒の表紙

4

## 色を表す言葉

世界の言語に共通の構造があることがわかった

- ・すべての言語には、「白」と「黒」にあたる語彙がある
- ・さらに色を表す語彙があれば、それは「赤」
- ・その次は「緑」か「黄」のどちらか
- ・その次は「緑」と「黄」の両方
- ・その次は「青」
- ・その次は「茶」
- ・色を表す語彙をそれ以上もつ言語には、さらに「紫」「ピンク」「オレンジ」「グレー」

発表されて50年たっても、よく引用されている研究

## 日本語は

8個以上の語彙をもつグループに属する

語彙は、

白・黒・赤・緑・黄・青・茶・紫・桃色・橙・灰(鼠)色

日本語の伝統的な色名

## 日本語の色名の場合

Berlin&Kayでも、  
多少疑問があるといわれている

日本語で、もっとも古くからある基本的な色名は  
白(しろ)・黒(くろ)・赤(あか)・青(あお)

青より先にあるはずの語彙である  
緑・黄は、あとからできた

その証拠に…

## 日本語の色名の場合

日本語で、もっとも古くからある基本的な色名は

白(しろ)・黒(くろ)・赤(あか)・青(あお)

緑・黄は、あとからできた

その証拠に…

白い・黒い・赤い・青い とは言えるが

緑い・黄い とは言えない

## 日本語の色名の場合

日本語で、もっとも古くからある基本的な色名は

白(しろ)・黒(くろ)・赤(あか)・青(あお)

緑・黄は、あとからできた

「世界の言語に共通する構造」と  
矛盾していませんか？

さらに研究が必要だが



現代でも  
緑だが  
「青信号」

かつては、「青」という言葉は  
「緑」を含んでいた

「しろ」と「あお」, 「あか」と「くろ」

## 日本語の基本色名

日本語で、もっとも古くからある基本的な色名は

白(しろ)・黒(くろ)・赤(あか)・青(あお)

白と黒は、色味のない「無彩色」

赤と青は、暖色と寒色

白 ←→ 黒  
赤 ←→ 青      という関係？

## 日本語の基本色名

日本語で、もっとも古くからある基本的な色名は  
白(しろ)・黒(くろ)・赤(あか)・青(あお)

白←→黒  
赤←→青 ではなく,

伝統的には 白←→青  
赤←→黒 なぜ?[2]

## 日本語の伝統的色名が表すもの

伝統的には 白←→青  
赤←→黒

現代では、「色名」はおもに「色相」を表す

かつての「しろ」「あお」「あか」「くろ」は  
明度・彩度を表していた

色相・明度・彩度とは…復習👉

## 色の三要素

顕色系カラーシステムでは  
色の特徴を色相・明度・彩度の3つの量で表す

色相…赤み, 青みなど, 人間が認知する色の種類

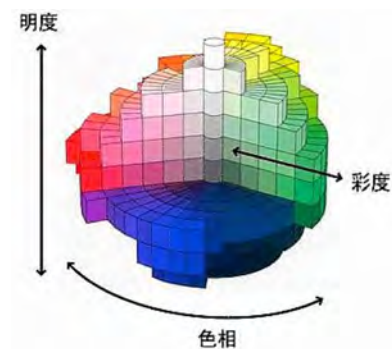
明度…色の明るさ

彩度…色の鮮やかさ, 色みの強さ

彩度が0の色は, 色相のない色(無彩色) それ以外の色味のある色は有彩色  
明度によって, 白~グレー~黒

## 色立体

色の三属性を3次元空間で表したもの



マンセル色立体(後述)  
色立体は表色系によって異なる

## 「しろ」・「あお」・「あか」・「くろ」

- ・ **しろ**…「**顕**」  
くっきりした, 彩度が高いこと
- ・ **あお**…「**漠**」  
はっきりしない, 彩度が低いこと
- ・ **あか**…「**明**」  
明るい, 明度が高いこと
- ・ **くろ**…「**暗**」  
暗い, 明度が低いこと

## 「あお」の意味すること

- ・ **あお**…「**漠**」  
はっきりしない, 彩度が低いこと

「あお」は「漠然とした色」で、  
かつては  
白・黒・赤以外のさまざまな色相を表していた[3]

日本における, 白に対する嗜好

## 日本における白に対する嗜好

### 万葉集

8世紀末に編纂された, 現存する日本最古の  
和歌集, 4500首以上を収録

色名を含む歌のうち, 41%に「白」が含まれる[4]

### 雪・月・花 (せつげつか)

伝統的な「美しいもの」の代表

雪景色の「白」はその第一

白は「無」で, 無限の広がりを表す[5]

## 日本における白に対する嗜好

### 白に対する好感

日本だけでなく、日本・中国・インドネシアに共通している[6]

### 「白」が表す色の範囲

かつては、黄みがかかった色も青みがかかった色も白の範疇に含まれていたが、現在は純粋な白に範囲が狭まっている[7]

## 「白」の表すもの

### 現代でも

日本の伝統色名では、「白」にもかなりの色味の違いがある[9]



山陽・九州新幹線の電車  
「白藍(しらあい)色」  
これも白の範疇である



東海道・山陽新幹線の電車  
こちらは白色



「赤」と「紅」, 「青」と「藍」  
(卒業研究[10]の紹介)

## 中国と日本での、漢字に対する色認識の違い

赤色を漢字で表すとき、  
日本では「赤」・中国では「紅」

青色を漢字で表すとき、  
日本では「青」・中国では「藍」

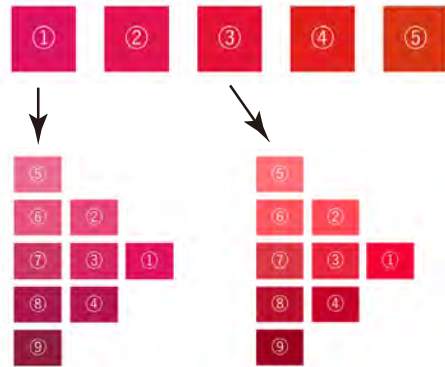
### マンセル色空間を使って調査した

リモート調査では、各協力者の端末   で色が異なる

→同一画面での相対的な色の違いを調べる

## 調査方法

赤／紅それぞれについて、



まず、5色相からひとつ選ぶ

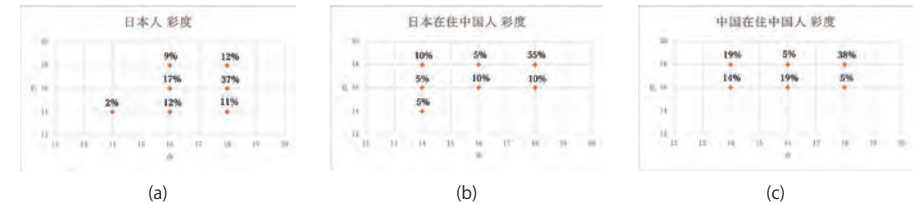
選んだ色相について、9つの  
明度／彩度の組からひとつ選ぶ

青／藍も同様

## 調査結果の一例

「赤／紅」で選ばれた彩度の違い

横軸：赤で選ばれた彩度(マンセルchroma), 縦軸：紅で選ばれた彩度



- 両方の漢字について同一の彩度を選んだ人は、両国の中国人のほうが日本人よりも多い
- 日本人は「紅のほうが赤よりも彩度が低い」と答える傾向があり、両国中国人では「紅のほうが赤よりも彩度が高い」と答える傾向がある